

劇団文化座 2026 新春公演

永遠^{とわ}のみどり

原民喜

劇団文化座公演一七〇

作 杉浦久幸
演出 鵜山仁



2026
02.12-23
thu mon

シアター・アルファ東京（恵比寿）



Established in 1942.

劇団文化座

永遠のみどり

原民喜
演出 杉浦久幸
演出 鶴山仁

美術…乗峯雅寛 衣装…岸井克己
照明…古宮俊昭 音楽…高崎真介
音響…齋藤美佐男
舞台監督…鳴海宏明 制作…小林悠記子

広島・原爆ドーム前の小さな碑：原民喜

STORY

毎年三月十三日に「花幻忌の会」と呼ばれる原民喜を偲ぶ会が行われる。その世話人である作家の遠藤周作はその当日、浮かない顔をしていた。年々参加者が少なくなっていたからだ。

「原さんは決して忘れていい人じゃない」。

原民喜——広島、爆心地から数キロほど離れた実家で被爆し、その体験を小説「夏の花」に描いた。

極端に口数が少なく、対人恐怖症とも呼べるほど人付き合いが不得手だったが、それでも彼の才能を愛した文学仲間を支えられ、また、見合い結婚で彼の妻となる永井貞恵のおおらかな愛情に包まれて、徐々に心を開いていく。ところが……

「花幻忌の会」が開かれて、遠藤は原民喜の人生を語り始める。

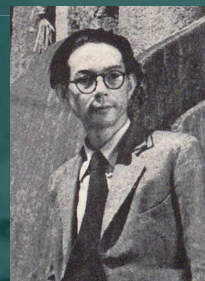
CAST

台本表記順



原民喜 1905 - 1951 詩人、小説家

広島市生まれ。広島高等師範学校附属中学校時代から詩作を始める。慶應義塾大学文学部予科、慶大英文科に進む。卒業後、最大の理解者であり最愛の妻となる貞恵と結婚。千葉に転居し幸せな時を過ごす。貞恵が結核に糖尿病を併発させ死去する。1945年8月6日、失意のまま帰郷し、爆心地に近い生家で被爆する。その時の被爆体験を感傷ではなく、透明で静謐な文体で記録した小説『夏の花』を「三田文学」で発表。被爆した自分の悲劇を売り物にしない姿勢を貫き、淡々とした文体で事実を伝えようとした。1951年、中央線の吉祥寺・西荻窪間で鉄道自殺。



2026年2月12日(木)～23日(月)

※開場は開演時間の30分前

	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)
14:00			○	★	○	○	○	○	○	○	★	○
18:30	○	○										

★…公演終了後、アフタートークあり【15日 鶴山仁・出演者 / 22日 杉浦久幸・出演者】

料金(全席指定・税込)

一般 5,500 円

Uシート 4,500 円 / 30 才以下 4,000 円 / 高校生以下 3,000 円

- ※ Uシートは前方の端席になります。(ステージの一部見切れのある座席になります)
- ※ Uシート、30 才以下、高校生以下については、劇団文化座(電話窓口)までお申し込み下さい。
- ※ 車イス等でご来場のお客様は、チケットお申し込み時にお知らせください。
- ※ 視覚障害、聴覚障害をお持ちの方も、チケットお申し込み時にお知らせください。
- ※ 障害者手帳をお持ちの方は介助者 1 名様ご招待させていただきます。

前売り開始

2025 年 12 月 23 日(火)

チケット申し込み

●文化座チケット Web 申し込みフォーム

<http://www.bunkaza.com/theaters/2026midori/midori.html>

●劇団文化座公式アプリ

右の QR コードよりアプリをインストールしてください

●Confetti(カンフェティ)

Web 予約 <http://confetti-web.com/@/bunkaza>

電話予約 カンフェティチケットセンター 050-3092-0051
(受付時間 平日 10:00 ~ 17:00 ※オペレーター対応)

「原民喜 永遠のみどり」特設サイト
(サイト内にチケットフォーム有)



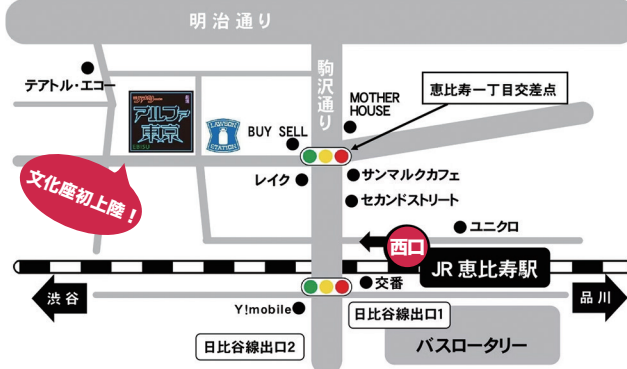
文化座アプリ



Confetti



シアター・アルファ東京 (恵比寿)



●JR・東京メトロ日比谷線「恵比寿」西口 徒歩3分

〒150-0011 渋谷区東3-24-7 イーストギャラリー B1F
TEL 03-5962-6084

お問合せ・お申込み

劇団文化座

E-mail: info@bunkaza.com

TEL: 03-3828-2216 (平日 10:00 ~ 18:00)

各種公式SNS



助成:



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人日本芸術文化振興会